



鹿児島 仙巖園

薩摩のひなまつり

期 間：2016年1月30日(土)～4月21日(木)

梅や桜が咲き誇る季節に、仙巖園では「薩摩のひなまつり」を開催します。尚古集成館別館では、徳川将軍の養女竹姫が輿入れした際に持参したといわれる豪華なひな道具を展示します。また期間中には、曲水の流れに盃を浮かべて和歌を詠む「曲水の宴」をはじめ、曲水の清流に身代わりびなを流して1年の幸せを祈る「流しびな」など、春を楽しめるイベントがたくさんあります。

◆ 島津家伝来 人形とひな道具展 ◆

(尚古集成館 別館)



◆ 薩摩切子のひな段飾り ◆

(磯工芸館、仙巖園 薩摩切子ギャラリー)



◆ 流しびな ◆

2月28日(日)



◆ 第22回曲水の宴 ◆

4月3日(日)



* 春の仙巖園 *



名勝 仙巖園(磯庭園)・尚古集成館

TEL/099-247-1551 FAX/099-247-9539



島津家伝来 人形とひな道具展

会場：尚古集成館 別館

島津家に伝わる有職雛(ゆうそくびな)や御所人形、鹿児島県指定有形文化財の豪華なひな道具 99種407点を展示いたします。

5代将軍徳川綱吉の養女・竹姫が、享保14(1729)年に島津家22代当主・継豊のもとに輿入れした際に持参したとされる将軍家の豪華なひな道具が、現在も残されています。また、有職雛は公家の衣装を忠実に再現したひな人形で、おもに公家社会や大名家で飾られていました。島津家に伝わる女雛は顔に髪の毛が垂れているのが特徴です。このほか、高さ50cmを超える「御所人形」や鹿児島の伝統工芸品「薩摩糸雛」、姫君たちが遊んだ「三折人形」なども展示されます。

<竹姫のひな道具>

竹姫は江戸時代の5代将軍徳川綱吉の養女で、島津継豊のもとに嫁ぎました。そのため、ひな道具には徳川家の葵紋と島津家の牡丹紋が施されています。島津家の家紋としては丸十紋が有名ですが、この他に十字紋や桐紋、そして牡丹紋が島津家の家紋として使われました。

<仙巖園 春の花ごよみ>

花	1月	2月	3月	4月
梅	白梅、紅梅、しだれ梅 			
桜		カンヒザクラ ガンタンザクラ ヤマザクラ		サトザクラ
ツツジ			ハヤトミツバツツジ	